

第10回 学生によるビジネスアイデア提案コンテスト キャンパスベンチャーグランプリ中国 キャベツ・プラン

黒田さん、楊さんらに最優秀賞

入賞16件 広島市内できょう表彰式

キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国実行委員会(山下隆実行委員長)中国経済連合会会長は17日、広島市中区のリーガロイヤルホテルで「第10回CVG中国」の表彰式を開催。テクノロジー部門の最優秀賞として、徳山工業高等専門学校(黒田浩成さん)の「誰にも持ていかれない安心傘」、ビジネス部門の最優秀賞として、鳥取大学医学部の楊振楠さん、三井物産さん、増田泰之さんの「アジア医療へつながるいのち つなぐ3点」など16件を顕彰し、賞状と賞金を授与する。



第10回CVG中国の審査の様子

地域イノベーション
閉塞感打破のカギ

CVG中国実行委員長 山下隆



2002(平成14)年から開催しておりますCVG中国は今年で10周年を迎えることができました。この間、グランプリ受賞を契機に起業された岡山大学の「クレオフォーガ」をはじめ、起業事例も多数生まれ、また提案件数・内容も年々向上するなど、着実に成果を上げていくものと考えております。これもひとえに企画・運営にご尽力いただいたりしております方々をはじめ、関係者の皆さまのご理解、ご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

この節目の年にあたり昨年8月には記念シンポジウムを開催するとともに12月には記念誌「CVG中国10年の歩み」を発行いたしました。記念シンポジウムでは広島県内6大学の先生方により、ベンチャー人材育成をテーマとしたトークセッションを行い、大学同士が協力して人材育成に取り組んでいくことが話し合われました。また、岡山でも起業をめざす学生や実際に起業している社会人などが切磋琢磨する「岡山大学ベンチャー研究会」が立ち上がるなど、中国地域の各地でベンチャー人材育成に取り組む機運が高まってきていることについて大変うれしく思っております。

おかげさまで今回の参加校は25校、応募件数が170件となり、ともに過去最高を記録しました。これも日頃から指導にあたっておられる先生方のご尽力によるものであり、CVG中国が広く地域に浸透してきた証左ではないかと感じております。

わが国は、失われた20年とも言われる長期の停滞状況を経て人々の間に閉塞感のようなものが漂っているように思われます。そうした状況を打破していくための原動力は創造性とチャレンジ精神が生み出すイノベーションにあります。CVG中国は、当地域のイノベーションの礎となる非常に価値ある取り組みであり、引き続き活動の充実に努めてまいりたいと思っております。今後とも皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(中国経済連合会会長)

メッセージ

「第10回キャンパスベンチャーグランプリ中国」におきまして受賞された皆さま、おめでとうございませう。

今回の大会においては関係各位のご尽力により、これまで最も多い25の大学・高専・専門学校などから170件の提案をいただきました。とりわけ岡山

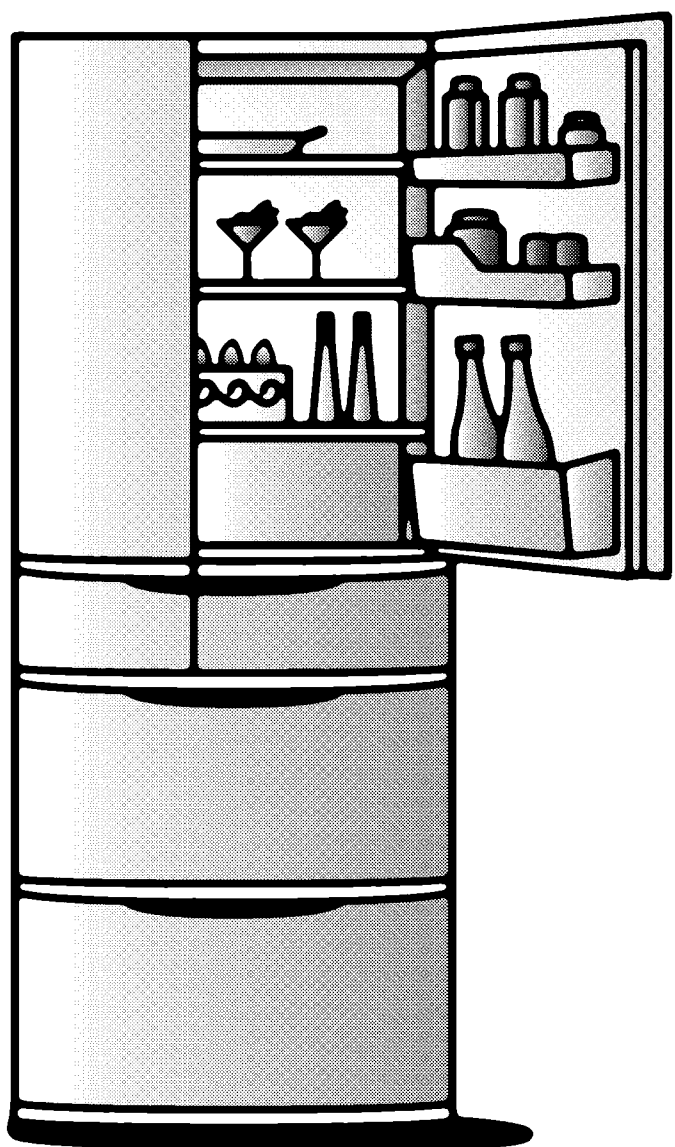
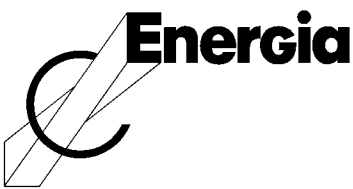
若者のチャレンジに期待

後とも進むことを期待しております。日本経済は、東日本大震災、歴史的な円高、欧州の金融危機などにより厳しい状況にあります。このように

中国経済産業局長

井辺 國夫氏

高めていくこと、さらには豊富な地域資源を活用して、自らのアイデアにより新産業を創造することなどにより中国地域を元気にしていくことを期待しております。



贅沢に使うことが、
時には「省エネ」
だったりします。

24時間・365日働き続けている冷蔵庫。だからこそ、使い方ひとつで消費電力に大きく差がつきます。たとえば、庫内の壁が見えるほど、食品をゆつたりと入れる。もったいなく見えるかもしれませんが、冷風が回りやすいので、無駄な電力を消費せずに効率よく冷やせます。また、食品がどこにあるかよく見えるので、出し入れがスムーズにでき、扉を開ける時間が短くなるというメリットも。毎日の暮らしの中で、無理なくできる省エネ。あなたもできることから始めてみませんか。

家庭でできる省エネ情報はこちら

中国電力

検索

中国電力株式会社 <http://www.energia.co.jp/>